



やこう

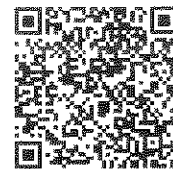
学校だより 令和8年度5月号

令和8年4月30日

横浜市立矢向小学校

ホームページはこちらからどうぞ→

www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/yako/



心の灯、ホタルの光

校長 沼田 留美子

矢向小学校では児童数が多いので、これまで朝会は放送で行って来ました。今年は人数が826名となり、何とか体育館に全校が入れる人数になったため、集合での朝会を再開しました。初めて全校朝会に臨む1～3年生は、4年～6年生の姿勢を見本にして、美しく整列し、私語もほとんどなく集まることができました。第一回の全校朝会では、スペシャルゲストとして、児童による委員会の委員長が登壇し、所信表明演説をしました。

「みんなが給食を食べて健康で元気な矢向小にするために給食の魅力を発信します。」「学校の中心になって学校より良くし、いじめを減らします。」「運動が苦手な人でも運動を楽しんでもらいたい。」「集会に参加してくれる人の笑顔が見たいから。」「世界平和のために何ができるか考えていきます。」「報道で給食を明るくします。」「ピーちゃんやホタルの世話に取り組みます。」「石鹸を補充して気持ちよく手を洗えるようにします。」「本が好きな人を増やします。」

どの委員長も前日の練習の時よりも堂々と、全児童に視線を送りながら語っており、委員長としての誇りとやり遂げる意気込みを感じました。委員長の話と同時に、5、6年の委員の人たちも共に立ち上がり、一緒に頑張ろうとする様子が伝わってきました。委員長の話が終わると全校児童から大きな拍手が起こりました。今年1年間、一緒に矢向小学校をより楽しく、誰もが安心でき、豊かな生活が送れるように様々な場所で活躍する子どもたちへの期待がもてました。学校は子どもが主役です。子どもたち自らが心に火を灯し、豊かな感性を生かした、今年度のメンバーだからこそできる挑戦が楽しみになりました。

今年もまた、ホタルの季節がやってきました。27日には、市川さんと孫の寛人さんにお越しいただき、1年生と環境委員会の6年生とともにホタルを放流しました。朝は、台風のような強い風と大粒の雨が降っていました。このような荒天は初めてです。1年生は幼虫が入ったお皿やお椀を持っているので傘をさすことができません。ここで、環境委員会の6年生の出番です。1年生の傘と自分の傘を二つさしながら案内し、池につくと1年生が濡れないように、丁寧に傘をむけ、「池の中に入れるんだよ。」

「気を付けてね。」「もう少し右側に行くと放しやすいよ。」と声が聞こえました。恐る恐る幼虫を池に放す1年生の様子にも気遣う6年生の表情はみなやさしく、おかげで1年生は濡れずにホタルを校長池に放すことができました。その日の夜には校長池でホタルの幼虫が放つ光が見えました。6年生の心遣いと市川さんがこれまで丹精こめて育ててくださったホタルを放流することができて心に光が灯ったようでした。

